

平成29年度 東近江健康福祉事務所 ネットワーク会議等結果

番号	会議の名称	開催日	会議の目的	検討内容	圏域の現状・課題	平成30年度予定・方向性
1	周産期保健医療連絡協議会	H29.11.2	妊娠～子育て期への切れ目ない支援体制づくり、ハイリスク妊産婦新生児連絡体制の充実	ハイリスク妊産婦新生児連絡体制の現状および課題について。妊産婦のメンタルヘルス(うつ対策)等	・妊娠糖尿病や死産後の産婦のフォローもハイリスク連絡で対応していきたい ・抑うつ状態の産婦がすぐに受診できる精神科医療機関がなくて困る	・ハイリスク連絡体制の充実とともに、 <b>圏域の周産期医療の現状と課題についても検討できる場にしていく</b> ・神野レディースクリニックアリスが会議に参加予定
2	糖尿病・慢性腎臓病地域医療連携推進会議	H30.1.11	滋賀県糖尿病地域医療連携指針に基づき、東近江圏域の関係機関等の連携を強化し、糖尿病の発症予防・重症化予防と慢性腎臓病予防対策を一体的に推進する。	1. 各機関の役割に関すること 2. 地域医療、地域保健、職域保健、医療保険との連携推進に関すること 3. 診療連携強化 4. 糖尿病性腎症重症化予防に関すること	・関係機関の顔の見える関係づくりにつながった。 ・会議と事例検討会だけでは、圏域各機関の主体的な取り組みまでには至らず、必要な支援と積極的な連携協力が必要である。 ・市町については、重症化予防のために健診結果による糖尿病管理台帳を作成し、優先順位をつけフォローを実施する。	・関係機関がそれぞれの役割を認識し <b>糖尿病の発症予防・重症化予防の取り組みができるよう</b> 会議、研修会を開催。 ・滋賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進
3	地域職域連携推進会議	H30.1.26	地域保健と職域保健が連携し、青壮年期層に対して、生活習慣病予防の効果的な保健事業の構築を図ることを目的とする。	1. 保健事業の情報交換に関すること 2. 圏域の健康課題に関すること 3. 健康づくりに関する効果的な保健事業の実施に関すること。	推進会議の構成団体それぞれが青壮年期層の健康課題を共有できているが、主体的に取り組みに進んでいないため、事業所で取り組まれている好事例等を紹介し、地道に啓発することが必要である。	昨年度の課題の内容について、会議、研修会を開催し、 <b>地域保健と職域保健の連携について具体的に検討</b> する。
4	自殺対策連絡協議会	H29.11.17	自殺未遂者・家族への相談支援体制の充実により再企図を防ぐ	市町・救急病院・精神科等関係機関の役割や連携上の課題、取組み等について	・連絡事例が少ない。連絡を受けた後、市町がタイムリーに動き、結果を確実に返していくことが必要・精神科ソフト救急事例への対応	・連絡事例の増加を図り、連絡があった事例にはタイムリーに対応し、 <b>システムが有効に機能すること</b> をめざし、会議・研修等を開催予定
5	精神科救急情報システム調整会議	H29.6.27	休日・夜間に緊急な医療を必要とする精神障害者に対する適切な医療体制の確保	現在実施しているシステム上の課題等について	一般救急と精神科救急の認識にずれがあること、救急医療体制の連携について課題がある。	精神保健福祉法に基づく緊急対応事例のみならず、 <b>救急システムの充実</b> に向け引き続き検討していく。
6	難病対策地域協議会	H29.12.19	地域の難病患者支援にかかる情報共有、関係機関等の連携の緊密化と体制整備	・管内難病患者の現状と課題および社会資源の共有 ・在宅療養生活支援体制 ・災害時支援対策	・難病患者の両立支援ネットワークの構築および関係機関との連携の推進 ・難病患者災害時支援対策の検討	・難病患者の療養生活と <b>職業生活の両立支援</b> の検討 ・市町ヒアリング結果をもとに難病患者 <b>災害支援対策</b> の検討
7	認知症疾患医療連携協議会	H29.12.22	地域の課題や新たなニーズを整理し、医療・介護・地域の有機的なネットワークの形成を通じて認知症疾患の支援の充実を図る。	①認知症医療・ケア体制における現状と課題について ②認知症医療・ケア体制の充実に向けた取り組み状況について ③今後の取組について	①かかりつけ医と専門医の連携の充実 ②各市町でまとめている資源マップの有効活用 ③各機関でのケアパスの活用 ④適切な時期に相談機関へつなぐ。	12月頃:現状・課題の内容について、 <b>各機関の取り組み内容の共有と認知症対策をモニタリングできる仕組みの検討</b> 。
8	退院支援ルール検討会	H30.2.2	病院と在宅との連携の現状評価と、連携方法等具体的な検討を行う。	①入退院支援の充実に向けて必要な取り組みについて ②東近江圏域の入退院支援の現状(症例報告) ③グループワーク ④講演	①早期から病院とケアマネの連絡が始まることともに、退院前の連携も促進されてきている。 ②医療の方向性やかかりつけ医に関する住民の理解促進 ③病院における退院支援の充実 ④必要な患者に適切な時期での訪問看護の導入 ⑤自立に向けた維持期リハの提供体制の充実	<b>退院ルールの定着化</b> をめざし、2月頃:病院・訪問看護/セラピスト/ケアマネそれぞれでWGを実施した結果および、アンケート調査結果を踏まえ、現状と課題を共有し、必要な取り組みについて事例を通して検討する。

平成29年度 東近江健康福祉事務所 ネットワーク会議等結果

番号	会議の名称	開催日	会議の目的	検討内容	圏域の現状・課題	平成30年度予定・方向性
9	脳卒中地域連携パスシステム運営協議会	H29.5.11 H29.10.12	近江脳卒中地域連携パスシステムの運用と管理を行う	①平成29年度運用状況について ②平成30年度予算(案)について ③平成30年度以降の脳卒中地域連携パスシステム運用について	①パスの運用により急性期→回復期→維持期の流れが定着してきている。 ②H30年度は現行のシステムを運用する。 H31年度以降は脳卒中パスシステムとびわこメディカルネットの統合の検討が必要。	脳卒中地域連携パスシステムとびわこメディカルネットの統合について検討を行うとともに、 <b>運用実績および評価について関係機関で共有し、脳卒中地域連携パスの運用を推進する。</b>
10	地域歯科保健調整会議	H30.1.26	管内関係機関が、歯科保健に関する課題等を共有し、滋賀県歯および口腔の健康づくりの推進に関する条例、および滋賀県歯科保健計画「歯つらつしが21」を推進するための取組を検討する。	①滋賀県歯科保健計画「歯つらつしが21(第4次)」の評価について ②各関係機関の取組について ③その他	① <b>学齢期のむし歯予防</b> ② <b>成人期以降の歯の喪失予防</b> ③ <b>訪問歯科診療の周知・普及</b> ④ <b>障害者(児)でかかりつけ歯科医を持つ人の増加</b>	左記の課題①について、近江八幡市におけるフッ化物洗口開始のための支援を継続する。課題③について、 <b>口腔アセスメントツールの作成および介護支援専門員対象の研修会を開催する。</b> その他の課題についても会議で検討する。
11	感染症予防連絡会議	H29.11.24	管内医療機関の感染症対策担当者同士の情報交換ネットワーク構築	・感染症対策の疑問点について情報交換 ・新型インフルエンザや最近の感染症の動向を情報共有	・医療機関同士の情報交換の継続 ・地域の感染症予防対策のボトムアップ ・感染症の最近の動向を共有する機会	・医療機関の疑問点の <b>情報交換継続</b> (院内ラウンド、病原体対策等) ・地域社会福祉施設向けの研修会共催 ・麻疹等発生時対応の共有
12	災害医療体制検討委員会	H30.3.14	災害発生時の関係機関の連携と協力体制の構築	災害医療体制の現状と各機関の役割について	災害医療地方本部の役割の周知徹底および関係機関との連携・協力体制の推進	東近江災害医療地方本部運営訓練「 <b>東近江地域災害時医療救護マニュアル</b> 」の見直し